

## 【八幡駅前地区】まちづくりの視点を踏まえた未利用市有地利活用の方向性

北九州市が考える未利用市有地利活用の方向性(キーワード)を以下にまとめました。  
アンケートにご回答いただくにあたり、参考にしていただきますようお願いいたします。

### ■八幡駅前地区の現状

#### ・ 地区の特徴

##### ○人の移動や環境にやさしい都市基盤

- ・JR 八幡駅、路線バス網の充実
- ・広幅員道路、街路樹・公園、ラウンドアバウト

##### ○歴史建造物と調和したまちなみ

- ・村野藤吾建築(福岡ひびき信用金庫本店社屋・旧八幡市民会館など)
- ・皿倉山の眺望

##### ○多様な世代が生活しやすい環境

- ・商業、医療、公共、就業などの各種機能がコンパクトに集積
- ・多世代(子育て世代、高齢者、外国人市民など)が居住

##### ○地域主体のまちづくりが活発

- ・学生の長期継続的な地域活動への参加
- ・地域団体による道路や公園を活用した定期的なイベント開催 など

#### ・ まちづくりの方向性(まちづくり計画)

##### ○北九州市基本計画(八幡東区)

- ・まちなかにある未利用地の利活用や居住の促進により、誰もが住み続けたいまちをつくりま

##### ○都市計画マスタープラン(地域別構想の土地利用方針)

- ・街なか居住の推進に向けて、安全・便利で暮らしやすい市街地の形成を進めていきます

##### ○立地適正化計画

- ・生活利便施設(医療・福祉、商業や住居等)を立地

##### ○景観重点整備地区(国際通り地区)

- ・若者が集まり、世界の人々がふれあう、文化、緑、ゆとりの空間を感じる、住んでいる人が誇りを思う、皿倉山を望む洗練されたまちなみ

##### ○八幡東区のまちづくり(令和6年度版)

- ・滞在するまち、誰もが住み続けたいまち、サステナブル(持続可能)なまちづくり

##### ○八幡東まちづくりプラン(八幡駅前地区)

- ・多世代・多国籍等の人々が集い・出会い、ともに暮らし交流するまち、
- ・子育て世帯、若者、アクティブシニア、多国籍、高度人材など共生するコミュニティのあるまち

### ■未利用市有地利活用の方向性(キーワード)

- ・まちなか居住 ⇒ 居住促進、安全・便利、コンパクトシティ、ウォーカーブル、生活利便施設
- ・景観 ⇒ 歴史建造物、文化・緑・ゆとり空間、まちなみ、眺望、洗練
- ・住民 ⇒ 多世代・多国籍、子育て世代、高齢者、若者、アクティブシニア、高度人材
- ・地域社会 ⇒ 地域活動、イベント、サステナブル(持続可能)、交流、共生・コミュニティ

# 【参考】八幡駅前地区の状況図

